

建材見本市

デザイン・機能共に秀逸
今年の素材系商材はすごい

今年の春も住まいの耐震博覧会、ジャパン建材フェア、建築建材展など、都内で開催された建材分野の主だった展示会を見て歩い

たが、印象に残ったシーンが多かったように思う。

まず、近年流行の木目デザインの窯業系サイディングの意匠性が格段

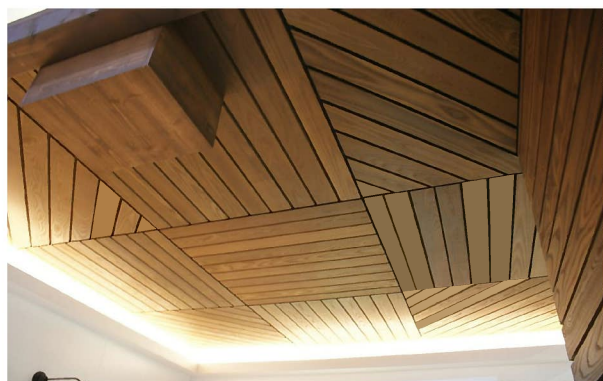
に向上したということで、それに合わせるように高温乾燥の天然木材の外装も見られるようになったこと。コーヒー豆のかすと紙コッ

プを再利用した侘びたボードが登場したこと。無機系でも木質系でも新しいデザインや機能をもった素材が登場した。

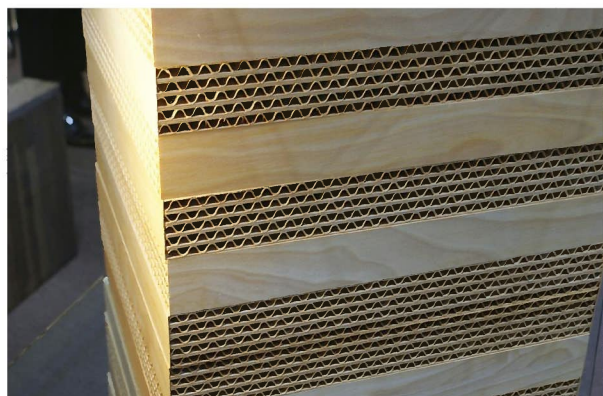
(関連記事P 46)



木目調サイディングの意匠が格段に向上 (ケイミュー)



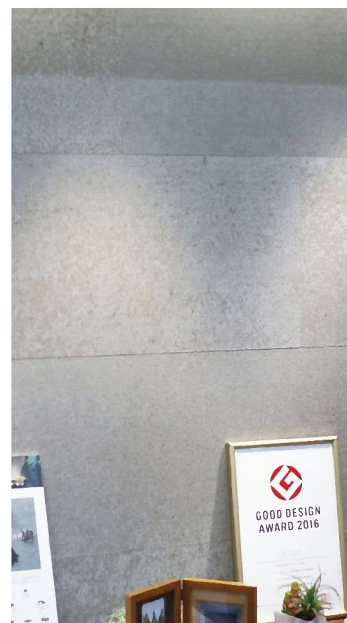
こちらは本物の外装・天井向けの乾燥木材 (大和屋)



合板端材を用いたハニカムボード (今井産業)



砂糖入り本格派グラスウール (チヨダウーテ&クナウフ)



コーヒー豆を再利用したボード「SOLIDO」 コーヒーショップを皮切りに店舗での採用が進んでいる (ケイミュー)